

2024年5月9日

課題名： 左主幹部周囲の石灰化の分布が経皮的冠動脈形成術後の予後にもたらす  
影響についての検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、経皮的冠動脈形成術（PCI）を受けた方の予後に関して調べています。分岐部病変と冠動脈石灰化は経皮的冠動脈形成術後の予後を悪化させる因子ですが、冠動脈分岐部における石灰化の分布が予後にもたらす影響については十分に検討されていません。本研究では、左主幹部分岐部の石灰化の分布が予後にもたらす影響を明らかにすることを目的とし、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2014年1月から2018年12月までの間に、左主幹部に対してPCIを施行され、ステント留置を行われた方。

◆研究に使用される情報◆

研究対象者背景：性別、年齢、身長、体重、既往歴、家族歴、生活歴、内服内容、PCI時の診断、併存疾患の有無、PCI手技内容・合併症の情報、治療前の血液検査データ、治療前の心臓超音波検査データ

PCI時の冠動脈造影画像所見、PCI時の血管内イメージング画像所見

PCI治療後から2024年4月まで（入院中および退院後）の転帰

◆情報の研究利用開始日◆

2024年5月28日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

循環器内科 研究責任者 佐々木 健太

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明